

「わたしたちができる、未来へのお手伝い」



2020年度 SDGs活動報告

サンコーが未来へできること

株式会社サンコーは、昭和37年(1962年)の創業以来「人の心に貯金する」を経営理念に掲げ、地場産業である家庭用品の製造販売をベースに、時代の求める新しいニーズに対応する様々な生活用品を生み出し、多くの生活者の皆様のご愛顧をいただいています。

社名の由来の通り「三つの幸せ」、お客さま、協力会社さま、弊社の三者が共に栄えることを念頭に事業を営んでまいりました。

そして、2020年7月「サンコーグループSDGs宣言」を表明しました。SDGsの達成に向けた取り組みを一層強化させ「モノづくり」を通じ、お客さまに「感動」を与えられる商品を提供できる企業を目指してまいります。

この度、2020年度の活動報告として、このパンフレットを発刊いたしました。地域社会の一員として、社会的責任を果たし、地域の発展に貢献するために、たゆまぬ努力をしていく所存です。

株式会社サンコー



環境に配慮したモノづくり



12 (つくる責任、つかう責任)



13 (気候変動に具体的な対策を)



14 (海の豊かさを守ろう)



15 (陸の豊かさを守ろう)

に取り組んでいます

ペットボトルに換算すると…



(※2017年～2020年使用分。500mlのペットボトルから25g再生として計算)
リサイクル原料(再生ポリエステル樹脂)の現在の使用率は約50%

「グリーン調達」「グリーン購入」の実践として、リサイクル原料(再生ポリエステル樹脂)の活用を進めています。今後も「リサイクル原料」の使用率を上げ、5年後には60%以上を目標にしています。

モノづくり起点の価値創出



「サンコーは、これからも持続可能な開発目標(SDGs)を支援し続けていきます」

海南市立第三中学校と
加茂川小学校
で講演



海南市立第三中学校にて産業学習で、「中学生として今気づいておくこと」と題して1年生72名に話をしました。加茂川小学校では租税教室で、「税金は社会の中で皆がよりよい暮らしをするため、仲良く暮らすために必要なものである」ということを伝えました。このような取り組みは、子供たちに夢を与える良い機会になりました。

地域未来牽引企業に選定



地域未来牽引企業とは経済産業省により、選定された地域経済の中心的な担い手となりうる事業者で、10月13日に地域未来牽引企業として選定されました。地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに選定企業には「地域未来投資促進法」などの関連支援施策が措置されます。

小学校、図書館に
「読売 KODOMO新聞」を寄贈



海南市内の小学校11校、海南 nobinos、下津図書館に「読売 KODOMO新聞」を寄贈しました。読売新聞大阪本社からは「新聞閲覧台」を寄贈していただきました。(2020年9月～)

月間「PHP」地域貢献活動



和歌山県の高校38校、支援学校12校、海南海草地方と和歌山市の一部の小中学校の50校に「PHP」を毎月届ける地域貢献活動を行っています。この活動は教育現場の先生方から「学校教育を応援してくれる地元企業があることに驚きました」「心の持ち方を生徒に伝える際、助かっています」等、たくさんの感謝のお言葉をいただいています。

小学校・中学校に
「人の心に貯金する」を贈呈



書籍「人の心に貯金する」を海南市教育長に30冊贈呈させていただき、海南市内の小学校、中学校、教育関係機関で、生徒・児童に読んでいただくことになりました。「あきらめなければ道は開ける」「心を読む大切さ」等創業者の生きざまに触れて、子供たちの心に残る1冊として喜んでいただけると考えています。

読売新聞「新聞のちから研修」開催



読売新聞から講師来社のもと、年3回研修を開催しました。気になる新聞記事を取り上げ、自らの考えを発表。内容をまとめ、相手に紹介するコミュニケーション育成、文章表現力、文筆力に磨きをかけることができました。

海南駅前西広場
「えきまえイルミネーション」に協賛



海南駅前西広場をイルミネーションで彩り、集まっていられる場を創造する「えきまえイルミネーション〜この冬、希望の光はまちに輝く〜」に協賛しました。このイルミネーションが希望の光となり、地域の人々に勇気と希望を与えてくれることを願っています。

環境に配慮したモノづくり



「グリーン調達」「グリーン購入」の実践として、リサイクル原料(再生ポリエステル樹脂)の活用を進めています。今後も「リサイクル原料」の使用率を上げ、5年後には60%以上を目標にします。



日本経済新聞全面広告に
「頑張る人全ての背中を押す、珠玉の6動画」として紹介されました



◀動画はこちら



7月に全社員の協力でYouTube動画を作成し、日本経済新聞社主催「NIKKEI魂の声」に応募しました。138社の1社に選ばれ9月24日付の日本経済新聞に「2030年に残したい企業 輝き方は、選べる。」として紹介されました。また、応募した動画が11月30日付の日本経済新聞で「頑張る人全ての背中を押す、珠玉の6動画」として全面広告に掲載されました。



わたしたちの
取り組み内容を
ご紹介します。
2020.7-2021.3



NPO法人 エコキャップ
推進協会



ペットボトルキャップを集めて寄贈しました。寄贈したキャップは世界の子供のワクチン接種の支援となります。

健康優良法人2020に認定



健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

りら創造芸術学園



りら創造芸術学園の教育活動推進や教育環境整備などを応援するために後援会活動を行っています。後援会の会員として、運営の支援と行事のサポートをしています。

NPO法人 日本救援衣料センター



世界には貧困や自然災害・紛争からの避難等で衣料を必要としている人々があります。従業員に呼びかけ、着なくなった衣料を集めて「日本救援衣料センター」に送付、寄贈しました。送った衣料は、貧困や気候変化による自然災害、また紛争地域の拡大・拡散による避難等で衣料を必要としている人に届けられます。

海南市と「災害支援等の協力を
関する協定」を締結



海南市と11月19日「災害支援等の協力に関する協定」を締結しました。南海トラフ地震等の大規模災害発生時に支援物資等の受け入れや管理業務の提供、防災関係機関、施設の提供等に関して協定を締結しました。

紀の国わかやま総文2021を応援



文化祭のインターハイである全国高等学校総合文化祭(22部門)が2021年7月31日から7日間にわたり和歌山市から那智勝浦町までの10会場で開催されます。県下の文化部に所属する高校生たちはコロナ禍の中、45年に一度の県開催にむけて、受け入れ準備や作品制作に一生懸命に汗を流しています。協賛というかたちで準備段階から高校生たちを応援しています。

NPO法人
日本子ども支援協会



虐待やそれぞれの環境によって失われるかもしれない命を守り、子供たちの未来を応援する、また親子が共に暮らせるように、地域や国の様々な機関と連携し、「子供の最善」をアセスメントしながら活動している団体を協賛というかたちで、協会の活動を支援しています。

ポップアスリートカップ



子供たちの「トップアスリートになる」という夢をより現実近くに近づけるために、「ポップアスリートカップ」という学童軟式野球大会を各地で開催。ポップアスリートが今後益々発展していくよう、広告や協賛費というかたちで大会開催を応援しています。

アルテリーヴォ和歌山



関西リーグ1部に所属し、Jリーグ加盟を目指すアルテリーヴォ和歌山の活動を多面的に支援し、チームの育成をサポートしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サンコーグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



〒642-0022 和歌山県海南市大野中 715
ホームページアドレス <https://sanko-gp.co.jp/>
メールアドレス liv@sanko-gp.co.jp



2021年6月10日発行



地球環境保護のために、再生紙と
植物油インクを使用しています。